会　　議　　録

会議の名称	令和元年度第３回行田市女性活躍推進ネットワーク会議
開催日時	令和２年２月１９日（水） 開会：午前１０時・閉会：午前１１時５５分
開催場所	行田市男女共同参画推進センター　学習室
出席者（委員）氏名	山﨑孝子委員（座長）、岡田恵美委員、吉澤篤人委員（代理出席）、為貝正博委員、根岸桃子委員、竹井里美委員、中村洋子委員、井上文子委員、加藤美幸委員、鹿山由美子委員、高橋陽子委員、内沼真由美委員（名簿順、敬称略）
欠席者（委員）氏名	吉田知弘委員、古川晴花委員、西田信子委員、染谷京子委員、坂詰恭子委員、永島志津江委員、田代美江子委員、吉田秀和委員、小山惣子委員、春田昇委員
事務局	堀口修司（所長）、蓮沼佳代（主任）
会議内容	（１）講　　演　行田警察署のロールモデル「子育て奮闘記」 （２）報告事項　本年度セミナー等について （３）協議事項　令和２年度女性活躍推進事業の事業案について （４）その他
会議資料	・会議次第 ・資料１　令和元年度事業実施報告について ・各セミナーアンケート集計結果 ・資料２　令和２度女性活躍推進事業計画（案） ・男性料理講座チラシ ・情報紙ＶＩＶＡ第４２号
その他必要事項	傍聴者なし

会議録の確定	確定年月日	主宰者記名押印
	令和　　年　　月　　日	㊞

発　言　者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
司会	・開会。 配布資料の確認。 ・本日の会議は、個人情報を取り扱う予定がないことから、原則公開とさせていただく。また、会議録については、委員名を明記の上、市政情報コーナー及び市ホームページにおいて公開させていただく。 本日の傍聴希望者はいない。
座長	・それではしばらくの間、議長を務めさせていただき、議事進行させていただく。 それでは、女性活躍推進ネットワーク会議の議事の（１）企業発表 市内企業の取り組みについて事務局に説明を求める。
事務局	依頼した経緯について説明。
行田警察署：佐藤氏	子育てしながら女性警察官として考えてきたこと、警察として女性活躍推進のために取り組んでいる状況について講演。 ・自己紹介及び職務経歴、警察の仕組みについて ・埼玉県警の取り組みについて ・行田署の取り組みについて
座長	・私たち市民から見ると、警察は敷居が高い印象がある。現在は女性に配慮され、職場の環境が開かれていると感じた。 何か意見や質問等あるか。
岡田委員	・休暇取得等いろいろな取り組みをされていて素晴らしいと思った。それを導入するにあたり、初めのうちは周りの環境が受け入れ難いといったことがあったと思うが、どのように克服されたのか。

佐藤氏	・初めのうちは男性の子育てに係る休暇申請は、女性に比べて非常に少なかったと思う。どの組織も同じだと思うが、例えばノー残業デーだったとしても自分から帰りますとは言いづらいが、上司から促されると帰りやすい。それと同様で、休暇についても上司から休暇を取得するように促されると部下は休暇を取りやすい。上司が誘導し、組織として取り組んだ結果、男性もかなり子育てに係る休暇を取得するようになってきていると思う。
井上委員	・休業中の給付金は支給されるのか。
佐藤氏	・休業中は保証され、手当の支給があるため困ったことはない。
井上委員	・私も子供を預けて働いていたが、私の時代は働く上で保証が何もなかった。 子どもを保育園に預けるうえで心配事はなかったか。また、夫がお迎えに行くなど協力はあったのか。
佐藤氏	・育児休業からの復帰がとても心配だったので、保育園までの送迎を何回も練習し、時間に間に合うか確認した記憶がある。仕事を続けたいという理由で自分の実家の近くに自宅を建てたため、保育園のお迎えに行けなかった時は両親の協力を得られるといった安心感はあった。 また、夫は当時、交番で三交代勤務だったため、非番と指定休の時には子どもの保育園の送迎をしてくれてとても助かった。そういった意味では、互いの勤務がずれていれば同業者だと融通が利くと思う。
根岸委員	・子どもが小学生と中学生ということだが、土日の休みの配慮や休むにあたり周りへの対応で大変だったことはあるか。
佐藤氏	・現在は６日に一度の宿直勤務だが、かなり配慮してもらっている。

	子どもの行事などで予め勤務が難しい時は、他の人に代わってもらうことも可能な状況であるが、もちろん感謝の気持ちを伝えるなどの気遣いは必要だと思う。子どもが保育園に登園していた時には、宿直勤務を配慮してもらった時もあったが、今は子どもを夫や実家に預けて宿直している。
根岸委員	・まきば園では宿直勤務ができないと正社員にはなれないため、働く女性に向けたシステムが出来ていないと思っている。 周りに頭を下げながら働くのは大変だと思う。そうやって頑張らないと日本では子育てが出来ないのかと思ってしまう。
佐藤氏	・子育てしながら仕事をするということは、子どもに関することで急遽休暇を取ったり、宿直勤務で配慮してもらう必要があったりと、少なからず一緒に働く人に迷惑をかける場面がある。そんな中で仕事を続けていくためには、周囲の協力・理解が必要不可欠であり、職場の人間関係が良い方がお願いもしやすく協力も得られやすい。そういった関係を築くためにも、協力してくれる周囲に感謝の気持ちを伝える、周囲に気配りし自分が出来ることは一生懸命やる、という姿勢を見せることは必要だと思う。 女性は職場以外でも子どもの関係や地元自治体の関係などいろいろな世界があり、それぞれの場面で気遣いが必要なため、逆に仕事をしている方が精神的に楽な部分もあるかもしれない。
為貝委員	・警察では勤務時間が様々だが、時間外というのはどのように付けているのか。また、月に平均してどのくらい時間外勤務があるのか。
佐藤氏	・基本は午前８時３０分から午後５時１５分が定時の勤務時間である。フレックス勤務の場合、勤務開始時間から７時間４５分後が勤務時間であり、それを超えたところから時間外勤務になるが、三交代勤務だと休憩時間が違うため時間外が変わってくる。

	また、時間外勤務は部署によって様々であり、事務職と突発的に事件を扱う刑事課などの部署では時間外勤務が全く違ってくる。
座長	・先日、行田市でも多額の振り込め詐欺があったが、行田市が狙われているということなのか。
佐藤氏	・行田市でも予兆電話が集中する日があるが、行田市に限らず近隣市町村でもそのような状況はある。
座長	・振り込め詐欺の担当をしているのか。
佐藤氏	・私は警務係であり直接の担当ではないが、予兆電話が市内で入った際などは係に関係なく、署員一丸となって警戒に当たっている。
中村委員	・私も仕事をしていたが、三人目が生まれた時に子どもを理由に早退することが嫌だったため、仕事を辞めた。今ではそのような状況が改善されている。私世代としては息子世代を応援するために、時々孫の迎えの手伝いをしている。是非、頑張っていただきたいと思う。
座長	・他に質問等あるか。 それでは、議事（２）報告事項　本年度セミナー等について事務局に説明を求める。
事務局	資料に基づき説明。
座長	・何か意見や質問等あるか。 凄く大好評で、私もビジネス力アップセミナーと終活セミナーに参加した。どちらも本当に為になり、自分に置き換えて見直すことができ、気付きにもなった。素晴らしいセミナーで有難い。

岡田委員	・苔玉講座だが、男女共同参画やワーク・ライフ・バランスといった内容のアンケートになっているが、講座ではそのような内容の説明や取り組みについて話はしたのか。
事務局	・事務局より講座の冒頭にセミナーの目的等の説明をした。講師が起業されて活躍されている二人だったので、そのような周知はした。
岡田委員	・この講座は４０代から７０代といった比較的年齢が高めの方の参加が多い。女性が仕事をしていく上で、周りが身近なところでどのように協力出来るのかという現役世代の支援を促すような内容を盛り込んでいただくと良いと思う。 参加しやすい講座だと思うので、そこで集客して大事なことをしっかり伝えていく方が講座としてより深い内容になると思う。 また、アンケートでもワーク・ライフ・バランスの講座に参加したいという方の意識が高くなっているように感じるため、今頑張っている世代を支援することでワーク・ライフ・バランスを整えることが出来るということを伝えられる講座にするとより良いものになると思った。
中村委員	・ビジネス力アップセミナーと終活セミナーに参加した。どちらもとても良かった。 ビジネス力アップセミナーでは、自分の表現の仕方や発表の仕方などとても参考になった。 終活セミナーだが、今回は健康第一に考えた片付けの内容だった。次回は、葬儀やお墓についての具体的な基礎知識を親世代から子世代まで学べる内容にすると良いと思った。
吉澤委員	・終活セミナーは、墓に関する内容をイメージしていた。私も同居していた身内が亡くなり、実際に分からないことが多かったため、具体的な内容のセミナーがあれば参加したいと思う。

加藤委員	・セミナーが凄く魅力的で私も参加したいと思っていた。ハローワークから２、３名が参加したと思う。 終活と仕事が直結せず、ハローワークではリーフレットの配布が難しいため、男女共同参画というフレーズが何処かに付いていればハローワークのリーフレットとして配布することが可能だと思った。
鹿山委員	・講座をやるのであれば、やはり男女共同参画ということを伝えていただき、女性が働くために考え方を皆で改めて支えあっていく必要があると思う。
高橋委員	・講師の選定はどのように行っているのか。
事務局	・セミナーの内容にもよるが、できる限り行田市の講師に依頼している。いない場合は、同じ内容のセミナーを開催した近隣市町村への聞き取りや、自ら情報収集して検討し、依頼している。
高橋委員	・地元で活躍されているロールモデルの役割を持つ講師により講座を開催しているのは、市町村の取り組みとして凄く魅力的だと思った。魅力的で自分が出来る身近なテーマで集客され、世代に合わせた男女共同参画の身近で出来ることに言及するのは、参加者に届くのではないかという印象を持った。
内沼委員	・私も事業を開催する立場なので、どうしても主催側と参加側の両面から見てしまう。主催側としては、定員を超えて開催できることを羨ましく思う。どのように周知すれば良いのかと参考になっている。また、参加側から考えると、やはり魅力的なセミナーだったと思う。自分も終活を考えなくてはならない世代だと思った。 苔玉講座などは、男女共同参画と絡めていかなければならない難しさがあると思う。私の事業は、市民活動に繋げていかなくては

	いけない難しさがある。やってみて良かったことや次回への改善点などは、実際やらないと分からないということを報告を聞いて思った。
竹井委員	・終活セミナーに参加したが、とても良い内容で凄く印象に残った。私は夫婦二人きりの生活なので、いずれ家をどうしたら良いのかということも含め、もっと聞きたい講座だった。とても良かった。
根岸委員	・まきば園では今年度ハラスメントの研修を行ったが、男女共同参画に当てはまると思った。女性スタッフが声を上げやすい環境を作っていくことにも繋がると思っている。男女共同参画を明るくポジティブに伝えていくのは良いと思うが、ネガティブなことも沢山ある中で、助けを求める人を救っていくような何か繋がりを持てる場を来年度のセミナーで作れれば良いと思う。
為貝委員	・先日、アンコンシャス・バイアスという無意識の偏見について勉強会に行った。自分でも無意識の偏見があると非常に感じ、誰でも持っていると思った。組織の中でいろいろな取り組みを行っているが、それぞれが今まで育ってきた環境などによる無意識の偏見があり、非常に大事だと感じた。 ダイバーシティなどいろいろな面で差別をなくすために、銀行も半期に一回個人面接を行い、それ以外にいろいろな勉強会を主管者自ら行うよう企画されている。 前年度は内閣府から「女性が輝く先進企業」ということで表彰され、かなり女性の活用に力を入れている。今は経営職階でも女性が３０％を超え、役員も２人出ているので、いろいろな意味で女性を活用できる場が増えていると思う。
座長	・そのような勉強会はとても良いと思った。 それでは、議事（３）協議事項　令和２年度女性活躍推進事業の事業案について、事務局に説明を求める。

事務局	資料に基づき説明。
座長	・何か意見や質問等あるか。
岡田委員	・前年度のセミナーの内容が良くなっていて、どれも参加率が良いので、このまま維持していただけたらと思う。 私は他市町村の防災セミナーに参加したことがある。実際に避難所の支援をされている講師で、男性と女性とでリスクが全然違うという話をされていた。男女では困ることが違い、また、死亡に繋がる事故も増えているとのことなので、防災セミナーでは男女別のリスクを伝えた上で、それぞれ常備しておく物や心構えなどを市町村の方たちも一緒に聞いていただき、官民一体で備えが出来るようになれば良いと思う。 メンタルヘルスセミナーについては、前回の会議で賛否両論あったと思うが、私は非常に良い内容だと思うので、是非、実施していただきたいと思う。また、ビジネス力アップセミナーの講師を依頼した会社ということだが、このセミナーのアンケート結果が非常に良く、参加目的も仕事以外での活用ということで、とても意欲の高い方が参加されていた。このようなコミュニケーションは凄く重要なので、このアンケート結果をメンタルヘルスセミナーに活かして繋げていただきたいと思う。 働きやすく周りに協力してもらえる環境を自ら作ることが凄く大事だと思うので、コミュニケーション力を上げておくことが非常に重要になると思う。ストレスを解消しながら自分で自分のために良い環境を作っていき、その中で自分の心の持ち方や考え方といったような内容にすると身近なものになって今年度のセミナーと繋がりが出来ると思った。
中村委員	・自治会女性部でも毎年防災の講座を実施している。今年度は、VIVAの調理室でパッククッキングを行った。お湯の中にポリ袋を入れてご飯を炊いたり、焼きそばや蒸しパンも作って食べてみたが、

	とても好評だった。 また、パッククッキングだけでなく、防災についての話もしてもらった。その中で一つ印象に残ったのが、水害後は死亡リスクが高く、後が非常に大変だという話だった。水害で家の中に入り込んだ泥は、細菌や化学物質などに汚染されて何が含まれているか分からないため、皮膚が柔らかく何でも吸収してしまう小さな子どもには泥を掻き出す作業を絶対手伝わせないで欲しいということだった。 いろいろな講座を行う度に様々な発見があるが、そのような話は聞いたことがなかったため大変勉強になった。 先日、テレビで防災の話をしていたが、男や女、子どもや職場といった、そのような立場によって何を考えれば一番良いのかというのが違うと話していた。例えば、「職場において」「小さい子どもがいる人にとって重要なこと」「お年寄りを抱えている人にとって重要なこと」とピンポイントで行うと良いと思った。
座長	・ところで、先日の台風の被害について根岸委員の職場ではいかがだったか。建物など水害被害はなかったのか。
根岸委員	・地域の方が避難し、多く集まっていた。白川戸では土地が高いので被害を受けなかった。向町はかなり水没したが、温泉デイサービスも水害の被害はなく、翌日も営業していた。
座長	・緑町では被害が凄かった。災害はいつやってくるか分からないので、やはり備えあれば憂いなしである。 他に意見はあるか。事務局がいろいろなことを考えながら良い講座を皆に届けようと企画しているので、更に良くするために皆の意見が大事である。
高橋委員	・「在宅ワーカー育成セミナー」と「就職支援セミナー」についてだが、埼玉県女性キャリアセンターから遠くて参加出来ない方

	に、センターのサービスを受けていただくことを目的に埼玉県が実施している事業である。 昨年度は「在宅ワーカー育成セミナー」に申し込みいただいたにもかかわらず、希望に添えず申し訳なかった。地域バランスや過去の集客によって選定しているが、毎年、近隣市町村やハローワークとの共催で集客には協力いただいているので、引き続き申し込みいただければと思う。来年度の事業については３月中旬に照会する予定なので、よろしくお願いしたい。
座長	・それでは、議事（４）その他について、事務局に説明を求める。
事務局	・その他として、３点のご連絡がある。 １点目として、今年度最後の講座になる男性料理講座の案内である。働く女性のために、自宅でゆっくりとくつろぎながら男性が作る料理を囲んで楽しい団らんの一時を過ごしていただき、コミュニケーションを図ることを目的に企画した。 是非、女性活躍推進のために各団体には周知をお願いしたいと思う。 ２点目として、令和２年度においてもネットワーク会議を３回開催する予定である。 ３点目は埼玉県知事の公約にもなっているＳＤＧｓについて、事業案には組み込んでいなかったが来年度の事業として検討していくつもりである。
座長	・何か意見や質問等あるか。
根岸委員	・先ほどパソコン講座で企業ではどのようなことが求められるのかということだったが、私の法人ではワード、エクセル、パワーポイントが使えると嬉しいと思った。しかし、それを網羅する講座は不可能だと思うし、技量をそれぞれ使う部分が異なってくると思うので、何かをやりたいと思った時にそれを調べる力をつけて

	欲しいと思う。一連の流れが自分で調べられるようになれば、かなり幅は広がってくると思うし、即戦力に近い人材になると思う。 また、フラワーアレンジメント講座で多くの男性が参加できるようにするという点では、男性が講師になった方が良いと思う。 また、なぜフラワーアレンジメントをやるのかと疑問に感じた。女性がやるようなことを男性もやるということが良いのかどうか、また、他のテーマにして集客をするのも一つの案だと思う。 存続自体を再検討された方が良いと思った。
吉澤委員	・昨年１２月に開催されたフォーラムに参加したが、とても良かった。社内でも案内を出したところ、当社の取締役も夫婦で参加した。 ミニコンサートはバイオリンの方が演奏しながら客席まで回り、なかなか出来ない体験で素晴らしかった。 また、アンパンマンのバタコさんの声などされている声優の佐久間レイさんの一人ひとりが違うので皆が同じではなくて良いという話が凄く感動的で、子育て中のママの気持ちが伝わる内容だった。最後の手遊びも楽しかったので多くの方に来て欲しかったと思った。
座長	・皆に配布してある情報紙ＶＩＶＡの最後のページに報告があるが、佐久間さんの沢山のキャラクターの声に驚いた。また、ミニコンサートでは、表紙に取り上げた矢澤さんがピアノを演奏した。本当に良い講演会だったので、もう少し人が来てくれれば良かったと思う。
内沼委員	・この場を借りて、事業の周知をさせていただく。 ３月１３日に地域づくり支援課と埼玉県共助社会づくり課の共催でまちづくりを考える講演会を開催する。地域でいろいろ活動され、活躍している方に集まっていただき話を伺ったが、女性が

	頑張っている市は町が元気だと感じた。 今回、埼玉県の強い希望で水城公園にあるヴェールカフェを運営している行田レインボーネットワークの取り組みを紹介してもらう。県から本当に素晴らしい事業だと評価されているが、行田ではなかなか理解が出来ないと言われている。ヴェールカフェのスタッフから若いママが発言できる場所がなく、働こうと思っても協力してくれる夫の理解が得られないと聞いた。今回の講演会には若い子育て中のママに参加いただき、いろいろな意見を伺いたいと思っている。是非、興味がある方にお声がけをお願いしたい。
座長	・ヴェールカフェでは子育て中の若いママが頑張っている。ママが働いている間、私も何回か保育を担当したことがある。若いママが子どもの近くで働けるのは凄く安心で、良い場所が提供されていると思う。 沢山の方に講演会に行ってもらえるよう皆に周知していただきたいと思う。また、定員を超えても多くの方が参加できるようにしていただけると嬉しい。 他に意見はないか。 それでは、本日の議事は全て終了した。これをもって議長の任を解かせていただく。
事務局	・本日は長時間に亘り、貴重なご意見をいただいて本当に有難い。 委員の皆さまには来年度も引き続きよろしくお願いしたい。 では、以上で閉会とする。